

あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM '90 3月号

特別展 相模川を歩く



「相模川流域の自然と文化」をテーマとする本館では、開館10周年を記念し、昭和62年4月から「相模川を歩く会」を行っています。

この会は、流域の自然を観察したり、人々の暮らしぶりなどを訪ねながら、相模川の源流まで歩くのが目的です。

月に1回ずつ約8kmを歩き、昨年11月に源流の1つである山中湖に到達しました。各回、25~50人の方々が参加され、それぞれの見聞をまとめた小冊子「相模川を歩く」は9号まで発行しました。

今回の特別展は山中湖までの踏破を記念し、歩く会の活動記録、流域の景観、相模川の魚や河原の動植物、流路の移り変わりを知ることができる絵図や地図、そして川の魚をとる漁具、砂利振り

（砂利採取）の道具、富士信仰資料などを展示します。

展示テーマ

I. 流路の変化 江戸時代の絵図、明治時代の地図と現在の流れをくらべ、流路の変化を紹介します。

II. 流域をたどる 河口から山中湖までの流域の景観写真や特色ある資料を展示します。

III. 相模川の魚 相模川に棲む約80種の魚の標本を展示します。

IV. 川のなりわい 川漁や砂利振りなど、川を舞台とした仕事の道具を紹介します。

会期 3月17日(土)~4月22日(日)

会場 博物館 特別展示室

平成2年度会員を 募集します

当館は、「生きた博物館」、「市民に親しまれる博物館」を目指して毎年各種の教育普及事業を実施してきましたが、平成2年度も年間を通しての事業に参加される会員を募集いたします。

地域の歴史を知る機会であり、自然分野にふれる事の機会でもあります。そして、参加者相互の人と人とのふれあいによって新しい仲間を得る場にもなっておりまます。

中教審が提唱している「生涯学習」は、余暇時間の増大化時代を迎えて、単に行政が「学習の機会」を提供するだけでなく、そこに培かわれるコミュニケーションも大切なねらいといえます。

自然観察会や相模川を歩く会の参加者によってまとめられている「自然の新聞」や「相模川を歩く」には、自然とのふれあいから得た新しい発見や喜びと同様に、人と人とのふれあいから得た喜びが記録されています。

これから時代は「余暇をどう生きるか……」が大きなテーマであり、身心ともに充実した日々を自らが創造していく工夫が必要であろうと思います。

人には幾度となく、いろいろな「チャンス」が訪れます。その「チャンス」に「チャレンジ」し自らのものにするために「アレンジ」する生活態度を大切にしたいものです。

こうした意味からも是非、博物館が計画する事業に参加されて、これ迄とは「ひと味」違った充実の年にされてはいかがでしょうか。

参加の申し込みを、お待ちしています。（前場）



「震災碑（厚木）の説明に聞き入る皆さん」



●相模川を歩く会

相模川流域を歩き、各地の自然や文化に触れながら見聞を広めます。ただ見学したり、観察するだけでなく、印象に残ったことや興味がわいたことなどをまとめて「相模川を歩く」を発行します。

平成2年度は大月市から下流に向って歩きます。

○新規会員 20名程度

○申込み締切：4月10日

○申込み方法：往復ハガキで「相模川を歩く会」担当まで、お申込みください。

○ガイダンス：4月22日（日）午前10時～12時



●石仏を調べる会

路傍や社寺にある石造物を調べます。調べた結果は「平塚の石仏」という冊子にまとめます。

平成2年度は、万田、出繩、根坂間、公所地区を調べます。

○新規会員：10名程度

○申込み締切：4月17日

○申込み方法：往復ハガキで「石仏を調べる会」担当へ

○ガイダンス：4月28日（土）午後2時～4時



●平塚の空襲と戦災を記録する会

平塚の空襲と戦災に関する資料の発掘、聞き取り調査、戦災地図の作製等を目的とする市民の会。

日 時：毎月第3土曜日、午後1時～3時に例会を実施します。

場 所：博物館特別研究室

申込み：3月20日までに往復ハガキで。特に参加人数に制限はありません。

●古文書講読会

市域に残る近世文書の解説を通して、歴史に親しむ会です。

日 時：毎月第2・4土曜日、午後2時～4時
場 所：博物館講堂

申込み：4月20日までに往復ハガキで。人数30名。



●天体観察会

肉眼彗星になると見込まれるオースチン彗星、極大期の太陽、夏のペルセウス座流星群、冬のふたご座流星群などの天文現象を観測したり、天文台の見学などを行います。

対象：一般（16歳または高校生以上）20名

申込み：博物館受付で配付している用紙で、4月5日までに。用紙の郵送を希望される方は、62円切手同封の上、天体観察会係あてお申込みください。



●漂着物を拾う会

花水川河口付近の平塚海岸を歩いて、海岸に打ち上げられた貝がらなどいろいろな海の生物を拾い集める観察会です。早朝の海岸を散歩してみませんか。

・毎月2回の土曜日（春から秋は午前6時～7時、第1回は4月7日、以後の予定は参加者に通知します）

・参加希望者は往復ハガキで3月31日までに博物館へ。

●土曜観察会

平塚の身近な自然を訪ねながら、いろいろな動植物の観察をします。2回野外で観察した後、博物館で「自然の新聞」を作ります。現在の参加者は、小学生からお年寄りまではば広いので、どなたでも気軽に参加してください。

- ・原則として毎月第2・4土曜日（午後2時～5時）
- ・4月は14日と28日。
- ・参加希望者は60円切手を同封して博物館へ。いつでも受け付けます。

●みんなで調べよう

「環境庁／身近な生き物調査」

身近な動植物40種類の分布を調べる全国調査に、博物館として参加します。調査は約1キロ四方の区域を分担して、タンボボ・ツバメ・セミなどがいるかいないかを調べます。協力して下さる方を募ります。研修会を開きますので予備知識は必要ありません。

- ・ガイダンス／4月15日（日）、19日（火）（どちらかに参加すればよい）
- ・研修会／5月から10月まで約10回の自由参加の研修会を予定しています。
- ・参加希望者は：ハガキで3月31日までに博物館へ。

●ナチュラリスト講座

湘南の動植物について研究されている方々に、お話を頂く講座です。原則として連続して参加することを希望します。

- ・5月12日（土）「平塚の自然と植物」
守矢淳一氏（元豊田小学校長）
- ・6月9日（土）「箱根の動物とヒト」
石原龍男氏（大涌谷自然科学館）
- ・7月14日（土）「セミのぬけがら調べ」
浜口哲一（博物館）
- ・年間9回、原則として第2土曜日、午後6時～8時
- ・参加希望者は往復ハガキで3月31日までに博物館へ。

****行事案内****

3月

4	日	自然観察会 "真鶴クスノキ林"
10	土	古文書講読会／土曜観察会／石仏を調べる会／ナチュラリスト講座
16	金	星を見る会 "木星を見よう"
17	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
24	土	古文書講読会／土曜観察会(新聞つくり)／石仏を調べる会
25	日	相模川を歩く会

・特別展 "相模川を歩く"

・特別展示室：3月17日～4月22日

・寄贈品コーナー："職人の道具"

：3月1日～30日

・プラネタリウム：ニュートリノが知っている

3月10日～5月2日

4月

7	土	漂着物を拾う会
14	土	土曜観察会／天体観察会ガイダンス
15	日	皆で調べよう "身近な生き物調査" ガイダンス
19	木	星を見る会 "水星と木星" / 皆で調べよう "身近な生き物調査" ガイダンス
21	土	平塚の空襲と戦災を記録する会ガイダンス／漂着物を拾う会
22	日	相模川を歩く会ガイダンス
26	木	裏打ちの会
28	土	石仏を調べる会ガイダンス

・寄贈品コーナー：新資料収蔵展(人文)

(4月1日～28日)

●寄贈品コーナー "職人の道具"

下駄づくりの道具、目立ての道具を展示します。

会期：3月1日～3月30日

●移動博物館のお知らせ

下記の公民館で、移動博物館を実施します。博物館で収集した資料を紹介し、皆さんからの質問にもお答えします。

・大野公民館 3月3日(土)～4日(日)

「平塚の野鳥展」 剥製や生態写真などにより野鳥を紹介します。

・松ヶ丘公民館 3月3日(土)～4日(日)

「平塚の遺跡展」 市内から出土した土器や鉄器・石器などを紹介します。

★ ★

★

●星を見る会 "木星を見よう"

最もめだつ表面もようのひとつだった南赤道縞が昨年来淡化しています。今までとは「変わった」木星の姿を、四大衛星とともに眺めましょう。

日時：3月16日(金)18時～20時

場所：博物館科学教室・屋上

※参加自由。

●星を見る会 "水星と木星を見よう"

西空低い水星を見つけたり、望遠鏡で木星を観察します。

日時：4月19日(木)18時～20時

場所：博物館科学教室・屋上

参加自由。当日科学教室にお集まりください。